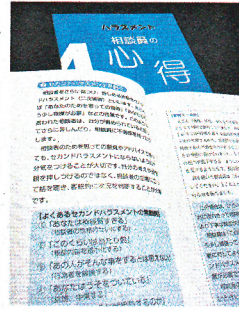


「ハラスメント」相談員の心得冊子に



パワハラ、セクハラなど、職場の人権問題に関するコンサルティング会社「アトリエエム」(大阪市)が、冊子「ハラスメント 相談員の心得」を写真を作成した。

研修を通して企業や団体の担当者から寄せられた「相談者の話を聞いているとつらくなる」「(ハラスメントの)行為者への聞き取りが難しい」といった悩みを基に構成した。

「相談者に共感しても同調はしないのが原則」「神経質なもの」「ハラスメント

は当たり前」といった言葉が、相手をさらに傷つける「セカンドハラスメント」となる恐れがあることも指摘する。上司ら行為者への対応は「毅然とした態度で」「弁明の機会を」などのポイントを示した。

代表の三木啓子さんは「相談員の多くは兼務で、多忙なか対応に困っている。解決に導くために冊子を役立てて」と話している。B6判64頁、500円(税別・送料別)。

また、同社は10月2、3日に同市中央区の大阪産業創造館で、相談員の育成セミナーを開く。定員20人(先着順)。参加費4万2000円。問い合わせはともに同社(06・4256・8836)へ。